

文科省の社会教育功労者表彰

堀金保男さん(小林)が受賞

12月3日、文部科学省の「平成30年度社会教育功労者」として表彰された元明和地区読み聞かせボランティアの会会長の堀金保男さんへの伝達式が役場で行われました。これは、堀金さんが平成10年度から19年間、昔話を通じて郷土の歴史や文化を子どもたちに伝承し、教育力向上に努めた功績が認められたもので、県内では堀金さんを含め2名が受賞しました。

伝達式では、県南会津教育事務所の佐藤則之所長から堀金さんに表彰状と記念品が手渡され、堀金さんは「19年間の思い入れがあるので、大変光栄です」と話されました。



▲表彰状を手にする堀金さん(中央)と伝達式に同席した県・町関係者の皆さん

迅速な消火活動で生命財産を守る

只見出張所に水槽付ポンプ車

12月4日、南会津広域消防本部只見出張所に新しく導入された水槽付消防ポンプ車のお披露目が役場で行われ、只見出張所の塩生博文所長が菅家町長に新車両を紹介しました。この新車両は、1,800リットルの水を常に積載し、約5分間放水できることが特徴です。これにより、火災現場では水源確保と同時に初期消火が可能で、これまでより迅速な消火活動ができ、さらに三連はしごなど装備も充実しています。

お披露目では、塩生所長が「町民の生命・財産を守るため、最大限に有効活用していきたい」と話しました。



▲新車両を紹介した塩生所長(右)と説明を受けた菅家町長(左)

日赤表彰で最高賞の社長感謝状

只見町赤十字奉仕団が受賞

12月5日、日本赤十字社の表彰で奉仕団功労の最高賞「社長感謝状」を受賞した只見町赤十字奉仕団を代表し、五十嵐聰江委員長が役場で菅家町長に受賞報告しました。只見町赤十字奉仕団は昭和63年に設立され、チャリティーバザーや雪まつりでのなめこ汁の提供など様々な活動を長年続けてきました。今回、それらの功績が認められ受賞したもので、県内では4つの奉仕団が選ばれました。

受賞報告では、五十嵐委員長が「先輩・会員各位の努力の積み重ねにより受賞できました」と話し、菅家町長がその功績を称えました。



▲菅家町長(右)に受賞報告した五十嵐委員長(中)と町赤十字奉仕団事務局員(左)

女性消防班が有事の際に備える

上級救命講習で応急手当が

12月9日、応急手当の知識と技術を身に付ける「上級救命講習」が南会津広域消防本部只見出張所で開かれ、只見町消防団女性消防班7名が参加しました。これは広域消防、消防団、町が連携して開催しているもので、有事の際に備え女性消防班が受講したものです。

只見出張所の救命士が講師を務めた講習会では、心肺蘇生法やAEDなどの所定の講習に加え、消防士の早朝訓練や救急・消防車両の見学なども行われました。最後の筆記・実技試験では参加者全員が見事合格し、「上級救命技能認定証」が交付されました。



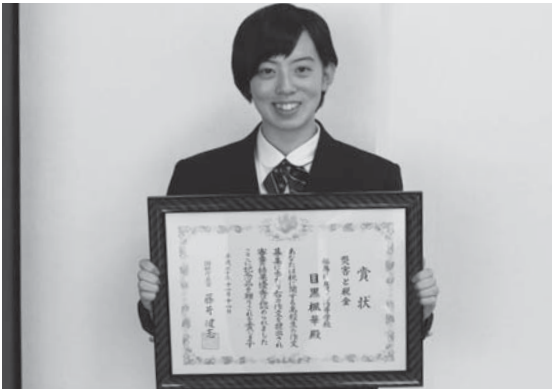
▲8時間の上級救命講習で知識と技術を身に付けた女性消防班7名の皆さん

国税庁「税に関する高校生作文」

目黒楓華さんが最高賞に輝く

国税庁の「平成30年度・税に関する高校生作文」の入選者が11月9日に発表され、全国の1810校21万9163点の応募の中から、只見高校1年の目黒楓華さんの作文が最高賞の「国税庁長官賞」に輝きました。

目黒さんの作文は「災害と税金」と題し、平成23年に只見町を襲った新潟・福島豪雨の復旧工事を題材に、国、県、町の税金の役割などについて書かれました。受賞を受けた目黒さんは「受賞してうれしいのと同時に、自分の作文を通して税金について多くの人に知ってもらいたい」と話されました。



▲最高賞の「国税庁長官賞」に輝いた目黒楓華さん

認知症について学ぶ

「認知症講演会」を開催

12月8日、認知症について理解を深める「認知症講演会」が季の郷湯ら里で行われ、約90名が参加しました。講師に朝日診療所医師の森冬人先生を迎え、認知症や認知症の方との接し方などについて講演されました。認知症は加齢に伴う物忘れとは違い、記憶力や判断力の低下により起こります。認知症を予防するためには禁煙や節酒、適切な食事や運動を行い、さらに睡眠薬の内服を少なめにすることが大切です。最後に「地域の人みんなに認知症を知っていただくことで、認知症になっても安心して暮らせるようになる」と話されました。



▲認知症を理解し安心して暮らせるまちづくりが重要と話す森冬人先生

叶津在佳の中野トシエさんに知事賀寿

12月9日で満百歳

12月9日で満百歳の誕生日を迎えられた中野トシエさん（叶津在佳）の知事賀寿贈呈式が15日、ご家族同席のもと季の郷湯ら里で行われました。

贈呈式では、県から知事賀寿状と記念品、町からは祝い金などが贈られ、長男の勝太郎さんが「母は家族みんなに支えられ百歳を迎えられたこと大変うれしく思います」と謝辞を述べられました。

トシエさんは子ども4人、孫5人、ひ孫8人に恵まれ、今でも畑仕事を楽しんでいますが、長寿の秘訣は、好き嫌いをせずに1日3食しっかり食べることでだそうです。



▲家族や関係者が見守る中、ひ孫の佐藤もえさん(左)から花束を受けるトシエさん(右)

小林の橋川サタイさんに知事賀寿

12月17日で満百歳

小林の橋川サタイさんが12月17日、満百歳の誕生日を迎えられました。

サタイさんは現在、神奈川県にお住まいの三女の船木まき子さんのご自宅に一緒に居住されており、県からの知事賀寿状や町からのお祝い金などは、神奈川県のご自宅に贈られました。

健康状態も良好だというサタイさんは、毎日かかさず散歩を楽しんで体を鍛えています。長寿の秘訣は散歩に加え、好き嫌いをなく3食しっかりと食べることでだそうです。



▲花を手にして写る満百歳を迎えられたサタイさん